|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業展開例No.2 | | 学年 | ２ | 教科 | 算数科 | 本時 | 2／11 | 実施月 | ５ |
| 単　元 | たし算とひき算のひっ算１（たし算） | | | | | | | | |
| 本時の目標 | | 一の位に繰り上がりのあるたし算の筆算の計算の仕方がわかる。 | | | | | | | |
| 使用ソフトウェア | | ＜アンプラグド　プログラミング＞ | | | | | | | |
| プログラミング的思考力との関連 | | | | | 筆算の仕組みや手順を論理的に考える。 | | | | |

時間

|  |  |
| --- | --- |
|  | 学　　習　　活　　動　　　　　　　　※教師の支援　◆思考ツールの活用　☆評　価 |
| 5  25    40 | ３４＋２８をひっ算でしてみましょう  ※数字を縦に並べて書き、位を意識させる。  ◆訂正をしたり、発表の際の掲示物としたりできるように、ミニホワイトボードを用いる。  ※ミニホワイトボードに書かれた内容を比較し、手順の正しさや見やすさ、単純さに気づけるように、各グループのホワイトボードを黒板に並べて貼る。  ◆計算の順序をフローチャートで確認する。  ※実際の筆算とフローチャートの流れとを比べることで、手順の正しさを確認する。  　・一の位をたすと、１２だから・・・  　・１０はどこに書けばよいのかな  　・かぞえ棒で確認したいな      　グループで正しい計算の方法をフローチャートを作って説明しよう  　・今度はたしたら１０をこえてるよ  　・どうしたらいいの？  ・たして１０をこえたら、くりあがるんだよ  　・たして１０をこえていなかったら、そのまま  　　たした答えをかけばいいんだね  　・一の位からたしていくとよいね  〇フローチャートを一つにまとめよう      〇振り返りをしよう  ☆同じ位の数をたして１０をこえたら、一つ上の位に１くりあげる  手順を説明することができたか　（発表・ミニホワイトボード）  step |